

自責と他責

よく「他責より自責を」と上司から言われていた。

自責とは、起きた結果をすべて自分の責任と受けとめること。「出来事がすべて自分の責任だというのは現実的にあり得ないし、世の中の出来事は自分以外の者が引き起こすから、責任を負うのはおかしいだろ」って思うことは当然だ。

しかし、結果が思うようにいかなくて、他人ばかり責めても状況は変わらない。

他責の人をみていると、「皆が人のせいにして」「自分を守るために他責になる」「まずは周囲が変わるべきだ」という考えを持っている。

自責思考で言えば、「原因は全て自分にあつて、おっしゃるとおり、ごもっとも」と認める事なのだろうが、なかなかできない。「言っていることは正しいけど、他人を変えることは難しいから自分から変わっていこう」と考えるのが一番簡単で「心にやさしい」気がする。

周囲に対して、何かしらアクションが出来ないか、自分の立場で出来る事、やっておけることはないか。それを頑張って探し出して、見つけたことに責任を持って実践する。

自分が出来る物事に対して責任をもって取り組んでいくと結果が少しは変わってくるはずだ。その変化を感じられれば、もしかしたら自責思考になるかもしれない。

それは、自分を責めたり苦しめたりする責任追及の自責ではなく、「自分には結果を変える力があるのだ」というやさしい感じの反応だ。こうなってくると、仕事も人生も面白くなってくると思う。

とはいえ、まだまだ「この梅雨が暑いのも、薬が苦いのも全部自分のせいだ」とまでは思えない。つい、神様や誰かのせいにしてしまう。

自責思考で満たされるようになれば、他人に振り回されず、どうにもならないことを恨んだり呪ったり、人を責めることがなくなり、自分の出来る事に徹底的に取り組んで行く進み方ができるだろうし、すごく良いと思う。日々努力と勉強なのだろうが、自分のペースでゆっくり進もうと思う。